ＡＲＤＦなっ！

@ardf_jp & #ardf_jp

Please follow me! @ardf_jp

ＡＲＤＦ日本　ハムフェア2011出展委員会

平成23年(2011年)11月20日

もくじ

ハムフェア2011出展のご報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第１回 ＡＲＤＦフォトコンテスト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

ＡＲＤＦ受信機の生い立ち ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

ヘイローアンテナ製作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

ＡＲＤＦ競技結果解析ツールの開発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

中国製受信機を共同購入しませんか？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

全日本大会の変遷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

2011御殿場高校練習会体験記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

クロアチア世界大会参戦記(敗戦記？) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

ＡＲＤＦだより
　１エリア(茨城) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　１エリア(栃木) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
　１エリア(群馬) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
　２エリア(静岡) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
　４エリア(岡山) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
　６エリア(宮崎) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
　９エリア(富山、石川、福井) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
　φエリア(新潟) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
　φエリア(長野) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

国内各地のＡＲＤＦ関連競技会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

最近２年間の開催実績と予定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

ＡＲＤＦ関係Ｗｅｂサイト ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

ハムフェア2011出展のご報告

ハムフェア２０１１にＡＲＤＦブースを出展し、
多くの来場者の方にＡＲＤＦをアピールできました！

開催前日の８月２６日、平日にもかかわらず、１０名近い方がブース設営のお手伝いに来てくださいました。

オープン直後、大勢の人が訪れました。
ブースでは、3.5MHzの微弱電波を用いて、バーアンテナとロッドアンテナによる探索の方法を体験してもらいました。

世界大会出場時の写真や、自作受信機なども展示しました。

会場外の小さな公園で「『緊急指令　急病人を探索し、救出せよ!』ゲーム」と題した〝お試し会〟も行い、延べ５０名近い方にＡＲＤＦを体験して頂きました。

※ハムフェアの来場者：１日目21,000人、２日目11,000人

ハムフェア出展のフォローアップとして、「初心者練習会」を開催し、たくさんのニューカマーに参加頂きました。

ハムフェアが終わった9月～10月に、静岡、東京、神奈川、埼玉で「初心者練習会」を企画しました。

９月１８日、東京都渋谷区の代々木公園で練習会が開催され、23人の新ＡＲＤＦerが参加しました。

ご家族やお友達との参加が多く、楽しみながらＡＲＤＦの基礎を体験して頂きました。

１０月２日、三浦半島南部の横須賀リサーチパーク(ＹＲＰ)での練習会に、１３名の将来有望な方々が集まりました。

ビル街ゆえの反射に悩まされながらも、皆さん２個以上のＴＸをゲットして帰りました。

参加した皆さんから、もっとこういった機会を増やしてほしい、との要望をいただきました。好評につき来年も実施予定です。来年はもっと多くの場所で初心者練習会を開催したいですね。

来年のＡＲＤＦブース出展スタッフ募集！

ＡＲＤＦの楽しさをたくさんの人に伝えてみませんか？
ブース展示の企画検討や資料作成はメールを使いますので東京近郊にお住まいでない方でも参加できます。

＜募集内容＞

・企画系スタッフ（企画、展示物作成、運営、初心者練習会、等）
・総務系スタッフ（会計、予定管理、広報、グッズ作成、等）
・ご希望の方は、お名前、経歴、ブース出展でやりたいこと、ＡＲＤＦへの思いをご記入の上、以下のアドレスまでご連絡ください。

担当：黒木（kenkurogi@gmail.com）
締切：2012(平成24)年3月31日（来年4月ごろより活動を開始予定です）
※来年のハムフェアは2012(平成24)年8月25日(土)、26日(日)の2日間、
東京ビックサイトで開催される予定です。

第１回 ＡＲＤＦフォトコンテスト

作品募集中！

知力と体力のスポーツ「ＡＲＤＦ」をアピールできる作品を募集中です。
スポーツとして、レクリエーションとして、健康のため体を動かすため、ＡＲＤＦの楽しみ方はいろいろあります。
ご家族でＡＲＤＦ大会に参加された思い出の写真も大歓迎です。
応募は、一般のデジタル写真のほか、携帯電話で撮影された写真でも応募可能です。

■テーマ

「ＡＲＤＦのある風景」

■応募資格

自由。どなたでも応募できます。

■応募部門

１．デジタル写真部門
（一般の部、ジュニアの部（高校生以下））

２．携帯写真部門
（区分なし）

■応募締め切り

2012(平成24)年6月30日(必着)

■表彰について

各部門から入選（２点）を選考します。
また、入選とは別に特に優れた作品に対して審査委員特別賞（２点）を選考します。（合計８作品を選考）

入選者には表彰状および副賞(記念品)を授与します。
表彰式は2012(平成24)年8月に行われるハムフェアのＡＲＤＦブースで行う予定です。
(表彰式の日時、会場等は今後変動することがありますのでご注意ください)

■応募条件

・応募作品は１人５点まで。ただし、未発表のものに限ります。
・応募は無料ですが、応募に関する経費は自己負担でお願いします。
・作品の応募はデジタルデータのみとなります。フィルム写真の場合はスキャナで読み取るなどして、JPEGに変換してください。
・応募はメールによる受付のみとさせて頂きます。
ファイル形式はJPEG
メールサイズは１通につき8MB以内でお願いします
１作品ごとに氏名(フルネーム)と題名を付けてください。
例）ARDF太郎＿藪を駆け抜ける悦び

・応募する際は以下の情報をお知らせください。
氏名(よみがな)、保護者名(18歳未満の場合)、住所、連絡先電話番号、職業(自営、会社員、学生(学校名・学年))、応募点数、応募部門、撮影場所、応募の理由

・全応募作品の著作権は主催者に帰属し、選外の作品も含めて広報等の各種活動に無償で使用できるものとします。また、著作権等応募作品に関する権利義務の処理は、応募者で事前に処理をお願いします。

■応募メールアドレス

以下のアドレスまでお送りください。
ardfphoto2012@googlegroups.com

■主催

無線方探展示委員会

皆様のご応募をお待ちしております。

ＡＲＤＦ受信機の生い立ち

JL1GDQ 柴田哲

◇受信機誕生前夜

ＡＲＤＦと言う言葉がまだ世に出る前…３０年前のことです。

会社のクラブのみんなでＦＯＸハンティングを企画したことを思い出しました。それは、山梨県の甲府盆地全域(南北40km、東西60km程度)を使って、モービルＦＯＸとＦＯＸハンティングを組み合わせたようなもので、移動は車やバイクを利用し探査する時は乗り物を降りて探査する、移動と探査を繰り返し行いＴＸの宿泊場所を探査する、ＴＸは１個で宿泊場所をＴＸに見立てて移動局を設置、ハンターと定期的に送信、会話を楽しみながら宿泊場所を探し当てると言うゲームです。参加者には前々日まで地理的な場所等は一切教えてなく前日の何時にスタート場所「中央高速道路の勝沼インター」に来ていただけるよう通知、当日の朝、スタート場所に来た方に地図を渡し(当然宿泊場所は書いていません)スタート時刻を記入して各自探査開始します。

当時はＦＯＸハンティングを経験したことがない方が大半で、最近のＡＲＤＦ競技に使用しているようなアンテナと受信機が一体の受信機は誰も持っていませんのでハンディトランシーバーに３エレメントの八木アンテナを使用した簡単なものなので方向が定まらなくすごく難しかったみたいです。お遊び程度で練習はしているものの大会に出た経験もないのでなかなかたどり着くことができません、ＴＸを設置した宿泊場所は貸し別荘地で広い範囲の中に同じような建物がいっぱい(今だったら大きい建物だから直ぐに見つかるのに)、ゴールできずにヒントを求める場面もあったり、地図外にでてＴＸが聞こえなくなり地元のアマチュア無線家に中継していただいてたどり着く方もあったり、今から思えばほほえましい光景ですね。

こんなお遊びでＦＯＸハンティングを楽しんでいたある日のこと、ＦＯＸハンティングの大会が行われていることを知り是非参加してみたいと思い立ちました。・・・２５年ほど前のことです。大会の情報を集めていたところ群馬県大会の情報がありました、近くなので早速申し込む、当時ＦＯＸテーリングと呼ばれていてハンディトランシーバーと３エレメントの八木アンテナで参加したことがつい最近のように記憶がよみがえって来ます。

スタートしてからいきなりダム湖の下から50mくらい駆け上がったところが受信開始地点です。その時点で疲れてしまい「ふらふら状態」でした。最初からなんて過酷な競技なんだと思いつつ競技が始まり、ＴＸから距離がある時は何とか方角もわかるのですが、近くに行くとアンテナをどちらに向けても同じ強さで聞こえ方角が定まらなく″うろうろ″するばかりで全然見つかりませんでした、そうこうしている時間ばかり過ぎ、一個も見つからないうちにタイムオーバーになってしまいました。・・・なんて難しい競技なんだろう。

帰宅してから状況を再現してみるとＴＸから近い時ハンディトランシーバーにアンテナを付けても外しても同じくらい信号が入ってくる。・・・これじゃだめだよね。・・・何とかしなければ。・・・

当時は受信機を自作しようとは夢にも思ってなく、トランシーバーをアルミホイールでぐるぐる巻きにしてシールドしたりアッテネータを工夫したりして２回目の大会(栃木大会)に挑戦、結果、４番ＴＸを１個で５番ＴＸが見つからなく、当時は５番ＴＸにゴールがあったのでまたまたゴールできないままにタイムオーバーでした。・・・なんて難しい競技なんだと肩落とす自分でした。

◇何とかならないのか

当時は情報も少なく大会に参加している方に友達や知り合いなどいなかったので相談することもできずに悩む日々でした。

上位の選手の方たちの受信機を思い出して見るとアンテナと一体型で自作していましたね。でも自作するための情報がない…悩んでいたころ雑誌を見ているうちに受信機とアンテナの一体型の記事を目にするこ

とができました。

アンテナは２エレで受信機の部分は小林電気研究所のＦＸ２でした。これだったら作れるかも…。早速住所を調べ相談に押しかけたことが思い出されます。いろいろと作るためのアドバイスをいただき自作に取り掛かる。

この時に作った受信機は１号機でケースが若干変わったものの２５年たった今でも健在です。ここから受信機作りが始まり、２号機、３号機は子供用に、まだ小学生だったので軽いものを作ってやりました。練習をしているうちに大会に参加したい気持ちが高ぶってきましたので親子で大会に参加することができました。

○探査方法の違い

ＡＲＤＦの面白さがわかってきたある日の練習の時

144M帯は信号の強い方で探査しますが、3.5M帯は信号の強い方より弱い方″ヌル点″の方が探査角が狭く″ばっちり″ですよね。

144M帯の探査方法(強い方)が慣れているから″ちょっとね″。

この様な会話から始まる。

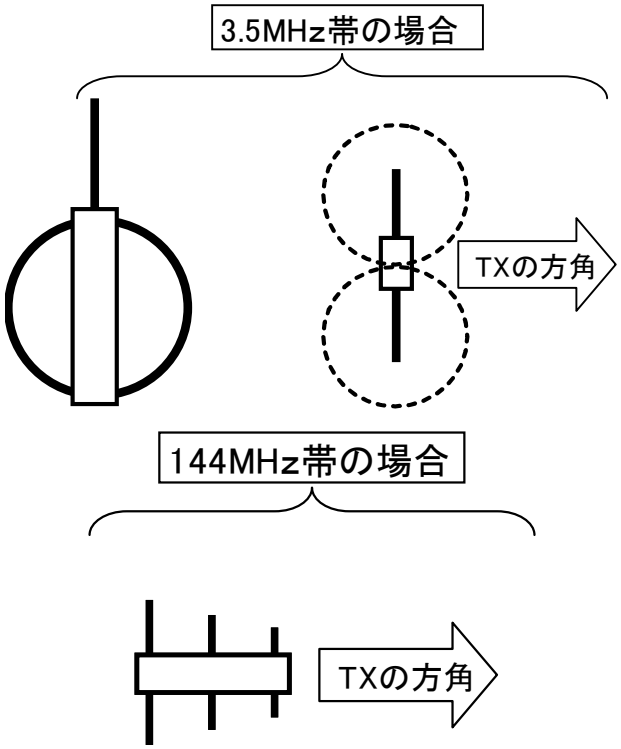


図１．探査方法の違い

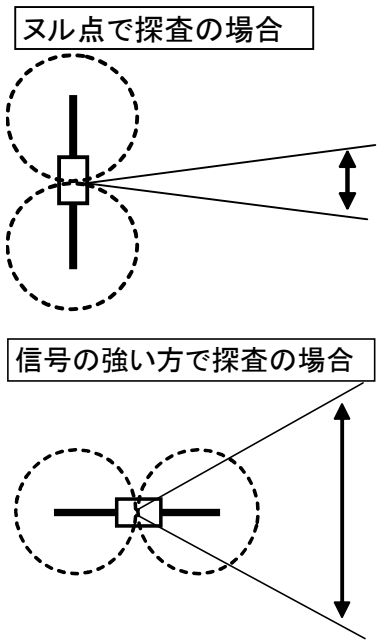


図２．探査角の違い

子供たちの意見は「3.5M帯は確かにヌル点の方が探査角が狭いけれど、聞こえなくなる方に向かって探査するのは難しいよ」子供には難しいことなのですね。じゃ信号の強い方で探すとして探査角をどのように狭くしようか？・・・

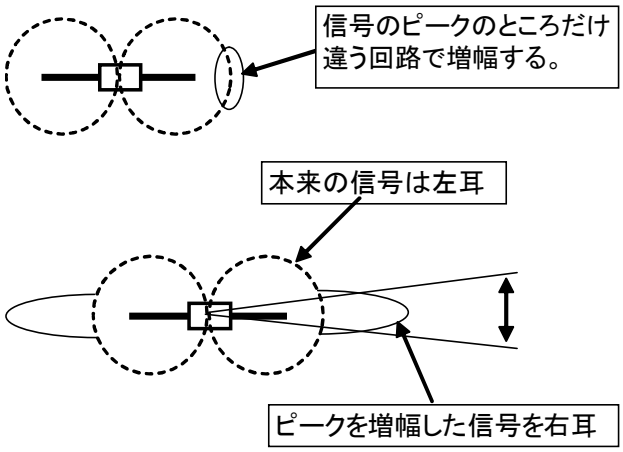


図３．探査角を狭くできないか…

○探査角を狭める

そこで考えついたことは、図３のように本来3.5MHz帯の場合は「モノラル」で聞いているところ、ピークを増幅した信号を、強くなった時だけ空いている片方の耳に音を出せばステレオで聞こえる、

(例)信号が低いときは左耳から信号のみ「モノラル」で聞こえ、信号が強くなった時右耳から何か音を出す。

この「ステレオ」で聞こえてくるタイミングをアッテネータで調整しアッテネータのメモリと組合せてればメモリの位置より距離感もつかめて「一石二鳥」ですね。

この様な回路を受信機に搭載し使用することになったことで子供たちにも喜ばれる…２０年ほど前のことです。

○広める

それから数年後のある日のことに当回路を公表し関東の一部のメンバーに聞いてもらう機会がありました。これがきっかけで一部の方たちも当回路を使い始めることになり、実績もつまれ原型が出来上ができました。でも当時3.5Mの国内での大会はおろか練習もなく、海外派遣選手以外はほとんど受信機を持っていない状況でした。そのため国際大会(アジア大会や世界大会)に参加される方の練習の場がほとんどありませんでした。そのようなことを考えると練習もできない状況下で国際大会に臨むのは少し可愛そう。まずは、受信機の普及を考えなければという思いから量産ができる受信器作りが必要と考え始めます。

当時の受信機は″ループアンテナ″の場合アルミパイプ製でした、アルミパイプは加工が大変で、量産はおろか一台作るのも大変でした。もう一つの方法として″バーアンテナ″がありますがバーアンテナ材料(コア)が入手困難で、これも量産をするにはちょっと大変。量産をするには入手や加工が簡単でなければなりません。

いろいろと材料を検討した試行錯誤をした結果ループアンテナを簡単にでき強度もある材料「エアチューブ」にたどり着きます。

○おわりに

今回はアンテナ内部の構造の説明は話が長くなるので割愛しますが、当アンテナを組み込んで製作を容易にし、量産が可能になりました。その後は各地での製作会も実施、一部の高校のクラブ活動にも導入され現在に至っています。

最近は当受信器の関係から3.5MHz帯の練習会や大会もできるようになり少しＡＲＤＦ人口も増えてきている感じがします。特に高校生が増えてきて良い傾向ですよね。

現在144MHz帯と3.5MHz帯のデュアルバンドも開発しているところです、またの機会に公表し記事を書きたいと思います。

これからも受信器作りを通じてＡＲＤＦの発展に少しでもお手伝いができればと思っています。

ヘイローアンテナ製作

JA0QBY 西原辰雄

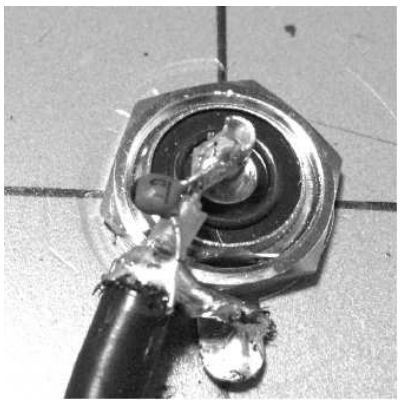
製作材料（１台分）

番号	品名	規格等	個数	単価（円）	金額（円）
1	アルミフラットバー	10mm幅、1t、長さ：1000mm	2	110	220
2	低発泡塩化ビニル	300×430×3t　灰色（６台分）	1	1,500	1,500
3	プラスチック　L棒	25×25×1000mm	1	350	350
4	ネジ	M3×10　平ワッシャ、ナット付	4	10	40
5	ネジ	3φ×10mm　タッピングビス	5	5	25
6	M型コネクタ	丸タイプ座	1	100	100
7	笠にプラスチック皿	38cmφ	1	240	240
8	トリマーコンデンサ	30pF	1	100	100
9	セラミックコンデンサ	10pF　50WV	2	10	20
10	同軸ケーブル	3D-2V　20cm	1	110	110

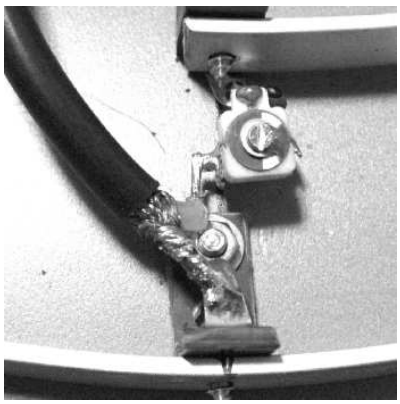
合計:2,705円

＊価格は参考です。（２）の低発泡塩化ビニル板はアクリル板、プラスチック板等でOK

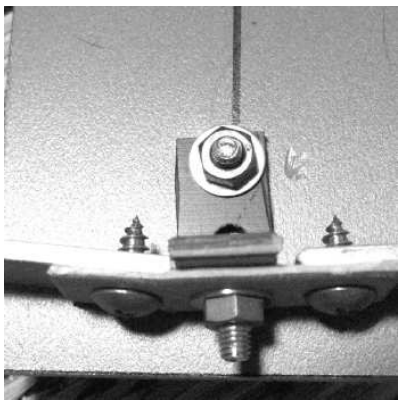
参考写真



コネクタ部

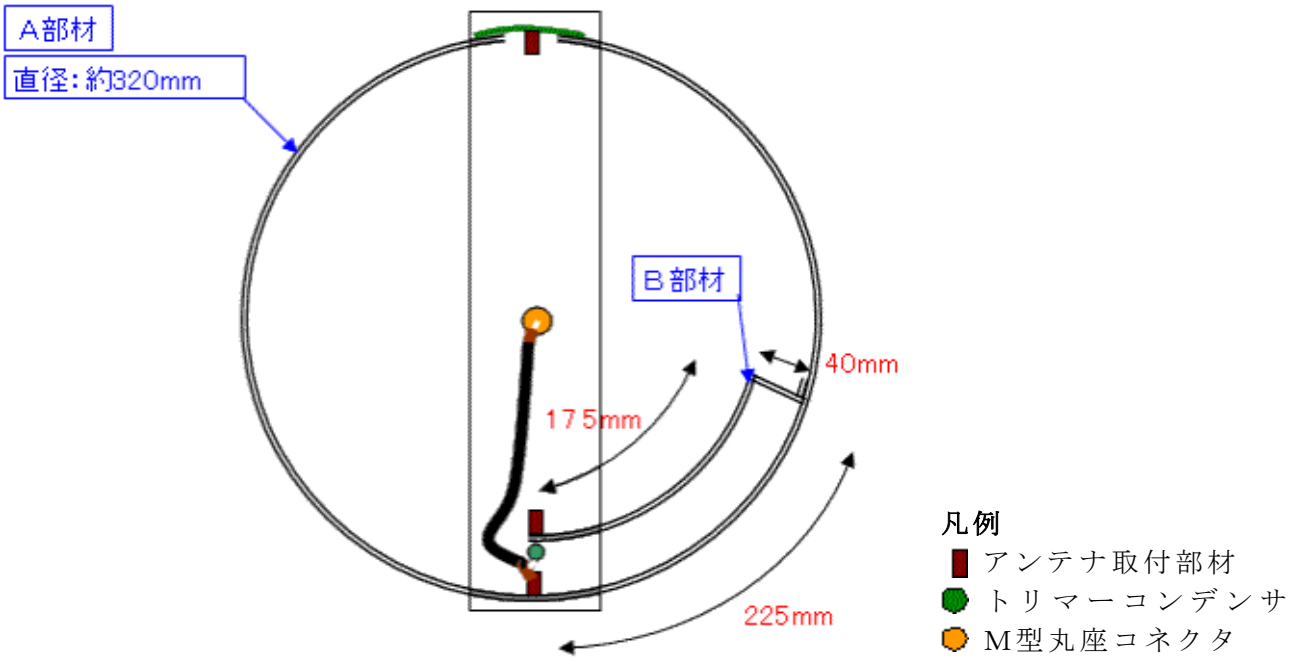


ガンママッチ給電部



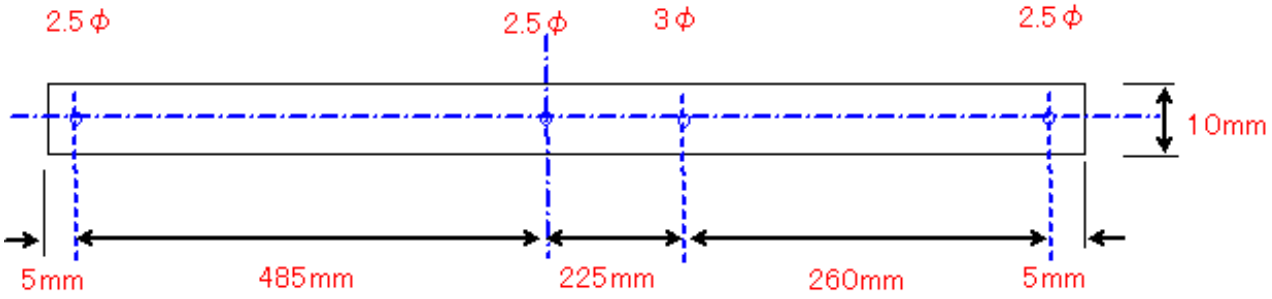
エレメント先端部分

アンテナエレメント、ガンママッチ加工図

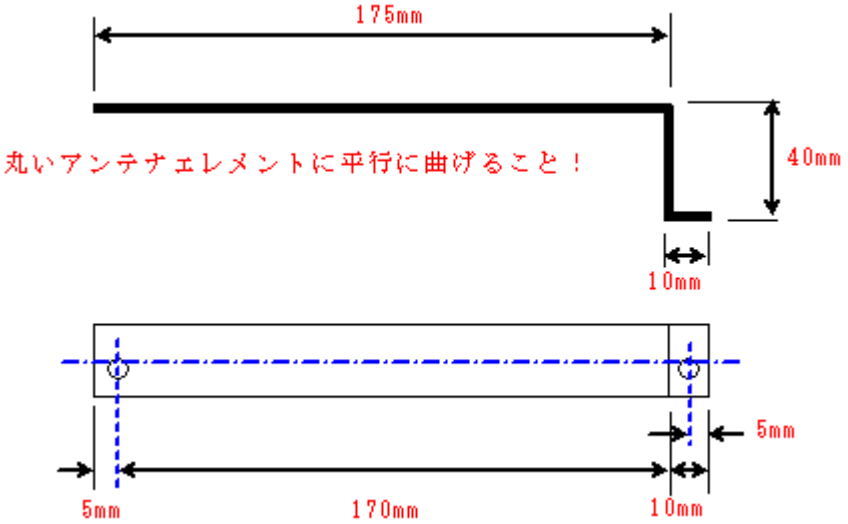


ヘイローアンテナ全体図

A部材加工図

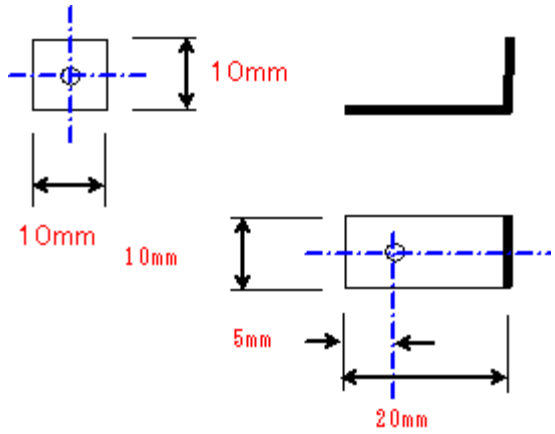


B部材加工図

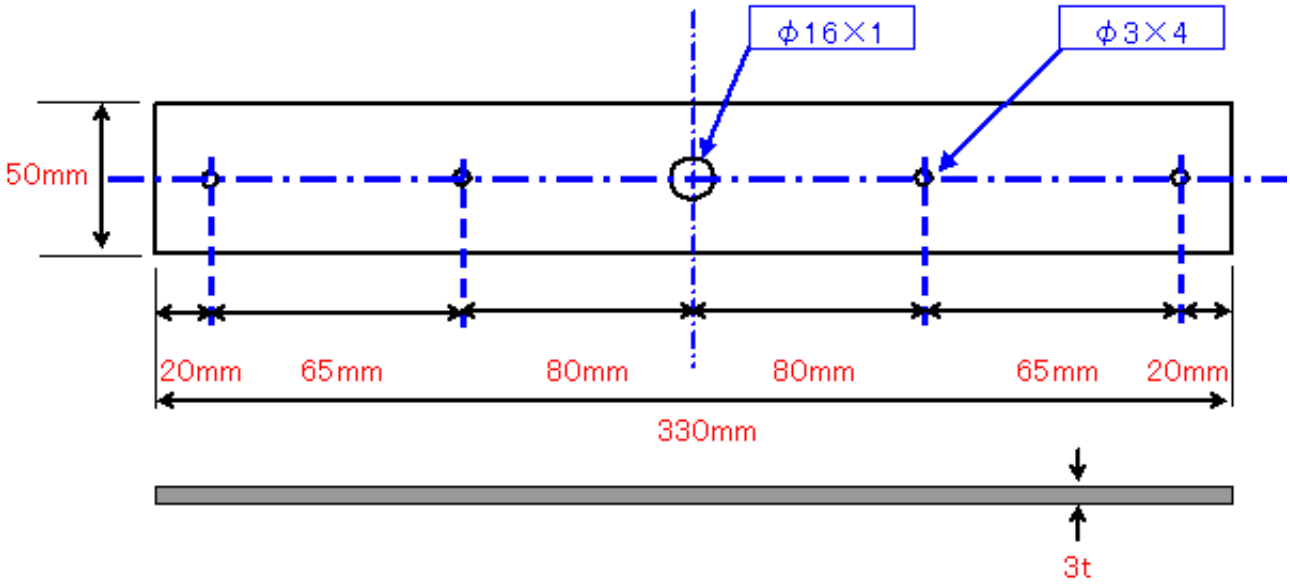


アンテナ取付部加工図

プラスチックのＬ棒を図のように加工します

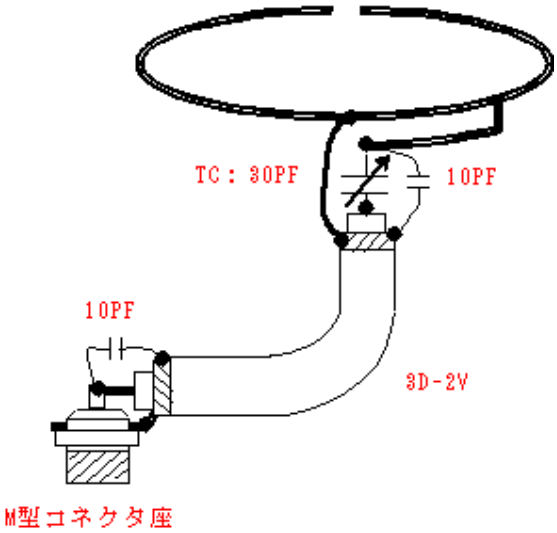


ベース板加工図



カッターで切り出し、上記の穴を開けます

調整



ＴＣ(トリマコンデンサ)調整棒で回し、ＳＷＲ最小点を探ります。
周囲の影響を受けます。
自分を含め、出来るだけ周囲の物品から離して調整して下さい。

雨防止用カサを付けると同調点が下がりますので、その際はＴＣを再調整して下さい。

ＡＲＤＦ競技結果解析ツールの開発

JA1-42305 安島巧

以前の大会では、競技者はパンチカードというカードに、各ＴＸに備え付けてある器具で穴を開けて探索証明とし、ゴールではスタッフが時計を見て時刻を記録し、成績計算も人間の手で行っていましたが、最近の大会では、計時機器を導入して、成績計算もソフトウェアでなされるようになりましたし、各ＴＸのゲット時刻も記録されるため、競技成績とは別にそれらの詳細情報も発表されるようになりました。

このように公表される情報ももっと有効に活用できないか、つまり自分の動きを詳細に解析して反省材料にするとともに、他の競技者との比較でレベルアップする方法はないかと考えて、２つのツールをエクセルマクロを用いて製作しました。

１．ARDFTracker 2

・最終競技結果のみならず、各ＴＸ間のＬＡＰタイムおよびそのランキングを表示
・全競技者のデータから、最速のＴＸゲット順・競技時間を算出
・実際に使用した競技地図上で、全競技者の動きを動画で表示(ただし、ＴＸ間は直線で動く)。また、全競技者が同時にスタート(仮想競技)した場合の動きも表示

２．ARDFTracker 3 for GPS

ＧＰＳ(Global Positioning System)を競技中に用いることはルール違反です。しかし、以下の理由でＧＰＳロガーに関しては慣例上使用が認められています。
・競技後に自分の行動軌跡を見たり他人の軌跡と比較して反省することは、競技技術向上に非常に有用である。
・ＧＰＳロガーは位置記録専用機であり、ＰＣに接続するなどしないと位置情報を取り出せない。

多種類のＧＰＳロガーが安価に手に入るようになり、去年辺りからＧＰＳロガーを使用するＡＲＤＦｅｒが急増しています。そこで、競技地図上で、各競技者がどのように動いたかを明快に示すツールを開発しました。

ARDFTracker 3 for GPSの表示画面例

これにより、各競技者がどこをどのように通ったのか、どこで迷ったかなどが手に取るようにわかるようになりました。また１分間隔で電波を発射するＴＸが切り替わりますが、それも図示することにより、競技者がいつどこでどのように判断し行動したのかも推定できるようになりました。また、近くのＴＸが送信開始したときに、あわててＴＸをゲットしに行く様子もバッチリわかってとても面白く勉強できるようになりました。

このようなツールを活用して、日本のＡＲＤＦｅｒの探索技術がレベルアップして、次々と世界に通用する強い選手が輩出されることを期待しています。
※ブースにてツールのデモを行っています。

中国製受信機を共同購入しませんか？

ＡＲＤＦをやる時に困るのが、受信機です。マスプロの八木アンテナにハンディ機で参加したのは20年も前、今は受信専用機で競技しています。かつてはミズホ通信などが販売していましたが、国産の完成品の受信機は、販売されていません。東欧の自作機を輸入する方もいますが、かなりの経費がかかりますし、定型的な輸入方法も確立されていません。

中国製の受信機なら、安価に入手できます。とは言え、売れるかわからないものをストックで持っているリスクは避けたいので、「共同購入」をしています。かかった経費をそれぞれに負担してもらう方法です。数や金額によって価格が変動しますが、１元＝２０円換算以下で購入できています。

長野ＡＲＤＦクラブは、ＡＲＤＦの普及を目的にいろいろな事にチャレンジしています。この共同購入もその１つで、安価な受信機を求める方が多い現状を考え、受信機などの輸入も経費のみで提供しています。利益は求めていません。

ＡＲＤＦをやってみたいので購入したい方は、ぜひご連絡ください。

連絡先
〒390-0221 長野県松本市里山辺1236-1 折井 匡　090-1266-3545　　je0gtt@JARL.COM
長野ＡＲＤＦクラブ会長　（ＪＡＲＬ信越 ＡＲＤＦ委員長）

主な機械と価格

3.5MHz帯	型番	販売価格(元)	今年７月購入実績
近距離用受信機	ＰＪ－８０	８２元	１，４７６円
近距離用受信機	Ｒ３５００Ｂ	８２元	１，４７６円
競技用受信機	Ｒ３５００Ａ	４２８元	７，７０４円
練習用送信機	Ｔ３５００ＢⅠ	３４８元	６，２６４円
競技用送信機	Ｔ３５００ＢⅡ	４９６元	８，９２８円
144MHz帯	**型番**	**販売価格(元)**	**今年７月購入実績**
近距離用受信機	ＰＪ－２Ｄ	２９５元	５，３１０円
競技用受信機	ＲＦ－２Ｄ	４６９元	８，４４２円
練習用送信機	Ｔ１４４Ｂ	２９８元	５，３６４円
競技用送信機	Ｔ１４４Ａ	７６９元	１３，８４２円
その他	**型番**	**販売価格(元)**	**今年７月購入実績**
コンパス	ＤＦ４０	２０元	３６０円
パンチ（１個）	ＮＰ０９	１９元	３４２円
ヘッドフォン	Ｆ６０６Ａ１	３０元	５４０円

注意：送信機は保証認定を受けてください。
近距離用と書いてあっても、競技には使えます。
この他に、国内送料が１梱包６００円かかります。折井名義で領収書を発行します。
購入価格は、送料、注文数、外国為替相場などによって、注文の都度変わります。
支払いは、受信機が到着してから、指定銀行口座へ送金してください。

全日本大会の変遷

【全日本ＡＲＤＦ競技大会の歴史】

●ＦＯＸテーリング全国大会
（ＪＡＲＬ後援）
1987(昭和62)年 静岡県富士宮市
1988(昭和63)年 静岡県富士宮市

●ＦＯＸテーリング全国大会
（ＪＡＲＬ主催）
第１回 1989(平成元)年 埼玉県狭山市

●全日本ＡＲＤＦ競技大会に名称変更
（ＪＡＲＬ主催）
第２回 1990(平成２)年 兵庫県三木市
第３回 1991(平成３)年 静岡県富士宮市

●地方大会からの選抜大会
第４回 1992(平成４)年 長野県高遠町
第５回 1993(平成５)年 熊本県冨合町
第６回 1994(平成６)年 愛媛県久万高原
第７回 1995(平成７)年 北海道江別市
第８回 1996(平成８)年 秋田県大館市

●選抜者以外のオブザーバー参加可能
第９回 1997(平成９)年 富山県立山町
第10回 1998(平成10)年 広島県本郷町
第11回 1999(平成11)年 山梨県大泉村
第12回 2000(平成12)年 福島県岩瀬村

●選抜(地方大会)の廃止
第13回 2001(平成13)年 新潟県黒川村
第14回 2002(平成14)年 北海道砂川市
第15回 2003(平成15)年 秋田県森吉町
第16回 2004(平成16)年 岡山県川上村
第17回 2005(平成17)年 石川県中能登町
第18回 2006(平成18)年 静岡県富士市
第19回 2007(平成19)年 兵庫県三木市
第20回 2008(平成20)年 鹿児島県霧島市
第21回 2009(平成21)年 茨城県土浦市
第22回 2010(平成22)年 長野県富士見町
第23回 2011(平成23)年 香川県さぬき市
(JARL Webのものを加筆修正)

【解説】

ＦＯＸテーリングとして発足したＡＲＤＦは、1987年11月に朝霧高原で第１回全国大会を開催しました。当時はＦＯＸテーリング協会が主催していました。ＪＡＲＬが主催したのが埼玉県の西武園からです。第２回からＡＲＤＦの名称となりました。

第３回からは、外国の大会の規則を参考に、ＪＡＲＬ独自に規則を定めました。第４回からは、第３回の全国大会の上位者と全国で開催される地方大会の上位者だけが参加できる大会となりました。その全日本大会で上位者が世界の大会へ参加できます。

第９回からは、受入可能人数までは選抜者以外でもオブザーバ参加が認められ、第１３回からは選抜大会はやめになり、だれでも参加できるようになりました。ＳＩは第１７回大会から導入されました。（同年９月にReg.3大会が新潟県であり、用品が揃いました）

ＡＲＤＦが始まったころは、毎年多くの参加者があり、世界大会への選抜も兼ねていることから、本当に強い選手だけ参加できる大会の位置付けだったのですが、地方大会を毎年開催しなければならない負担などから、現状のような形になりました。

私は８７年に局免許をとりました。その年から全国大会が開催されています。以後選手として11大会、審判長・副審判長・裁定長を各１回、審判員を３回経験しています。

どの大会にもそれぞれ想い出があり、苦しかった事や嬉しかった事が思い出されますが、やはり第４回～第８回までの選抜大会は大変でした。地方大会で選抜されたのは第６回だけで、いくら頑張っても選抜されず、自分の実力の限界を思い知らされていました。

JE0GTT 折井匡

2011御殿場高校練習会体験記

（チームJAPAN選手強化練習会）

JF3KRL 菊一好史

7月23・24日、全国でＡＲＤＦ競技ではトップの御殿場高校が企画された練習会に参加させてもらいました。場所は昨年の全日本大会が開催され、先月には信越地方大会でも体験させて頂いた「富士見高原リゾート」です。

このテレインは、クロアチアや韓国のテレインと感じが似ており、単に道を進むロードレースではなく、TXの方向をしっかり探査して藪を進む競技方法が適しています。

しかし、今回は、更に難易度が上げられ、TXに設置されるフラッグがなく、パンチ台のみ設置されているというとても難しい設定です。5m以内に近づいても方向をしっかり求めていないとパンチ台は発見できません。

○１日目（23日、3.5MHz）

スタート地点は昨年の全日本と同じ場所でしたが、ゴール地点はスタートの北北東に位置する藪の中でした。

スタートから西側に広がるテレインに対して、時計方向に回り、最後はゴールに向かって坂を登るように設定されているなぁと感じます。そして、400m以上TXを離して藪を楽しむ設定をされているなら、山道沿いには設置されている筈が無いと予想を立てます。

スタート後、まず全TXの方向を探索します。スタート地点の標高が高いのと、電線から離れているのがとても助かります。

探索すると、予想した場所方向に重なるように電波が聞こえてきます。ただ、残念ながらTX1はスタート地点で聞こえず、推測していた方向から１箇所無かったのでTX1と予想し、競技に望みました。

TX5-4-1-2-3と順番を決めて動き出しましたが、TX5にアタックする為に、まずはスタートから750mを離れるべく出来るだけ道に出て進みました。道から程なく入ったTX5に藪こぎするのですが、フラッグが無いために近づいても発見できず苦戦します。やっとの思いでゲットして、TX3が道なりに正面に聞こえるので、道を突き進み分かれ道で、鳴くのを待って藪に入りますが、これまた、藪の中にあり苦戦です。

TX3からTX1に向かう頃にはTX1の電波も聞こえ出し、道を進めば良いのにずーーっとTX1まで藪を進んで体力を消耗します。TX1も分かれ道で鳴かせて待って藪に進みますが、そんな素直に設置してあるわけもなく、数回鳴かせてゲット。

TX1からTX2に進もうにもまったく聞こえないので、当初測定して予想していた辺りまで道を素直に進みますが、まったく聞こえず諦めて、TX3に向かうべく道から藪へ。

どんどん藪を進むが、受信機の距離測定では、まだまだ先との表示。辛抱強く、周りに選手の姿もなく、藪を進んで、50m手前位で鳴くのを待って鳴いたタイミングで方向を出してようやくゲット。

私の姿が見えたのか、高校生達が四方八方からぞろぞろと現れました。

その後、素直に道に出てゴールへ向かえば良いのに、ビーコンを頼りにまた藪こぎしてようやくゴール。

練習会とはいえ、世界大会に匹敵する難易度に疲労困憊で、競技後温泉に浸かって休憩室で仮眠していて気づいたら18時を過ぎていました。

○２日目（24日、144MHz）

スタートは前日と同じながら、ゴールは正反対の南側。しかも走行困難となっている藪の中であり、どの方向からも藪を通らないとゴールには入れません。

今回も事前に予想を立ててから、探索開始して重なる方向・場所を求めます。

特に144MHzの場合は、出来るだけ高い尾根部分で測定しないと、谷部分で測定すると周りの反射で正確な測向が出来ませんので注意が必要です。

今回は、冷静にスタート後に探索してし

っかり探索順序を決めました。TX4-1-5-3-2の順番が良さそうです。

TX4までは道を進めば良いのに、今回も藪を堪能してきました。やはり、フラッグが設置されていないので、手前50m位で待って鳴かせて真正面にパンチ台が見えてゲット。続いてTX1へ藪を進みます。

今回の練習会、そんな簡単な場所に設置してある訳もないので道沿いでなく、藪を想定すると道から更に小道を上がった少し上で鳴くのを待つのがベストでしょう。鳴いた瞬間、あと50m位小道を進んだ正面と判り素直に進むとゲット。可哀想にすぐ下の道で測定していたＹ高校の生徒は下の道を駆けて行きました。残念ながら、走力があるのに、微妙な測向が出来ていないのですねぇ。

私はすんなりTX1をゲットし、TX5へ藪を進みます。TX5もしっかり藪こぎを堪能しながら進むと、途中高校生の姿を見るのですが、何故か鳴いていないのに受信機を振り回しつつ歩いているのを見かけます。きちんと測定するなら立ち止まって測れば良いのに…　単に目標のTX以外の強さを確認するなら、常に基本姿勢を決めてその姿勢での強さ比較が良いと思うのですが。

私の方はTX5を取った後、TX3へ進みますが､また藪こぎを堪能させてもらえました。TX3まで近くの道を進んでいると新潟のベテラン選手が脇から出て走っていきます。丁度、こちらが測定して目標にしている場所付近でした。その場所までたどり着くと他の選手が草を掻き分けた跡がありラッキー！　掻き分けて進むと正面にパンチ台が見えてゲット。

残るTX2はゴールに向かって進めば少し外れた方向であるのが判っていながら、地図を見ず方向探査だけで進んだために、やっぱり藪こぎを楽しませてもらいました。

TX2とゴールの間に通っている道に出て、ホッとしながら坂道を登りつつ、測定すると道から左斜めに出た時点で思い切って藪へ。後ろに高校生数名が疲れた顔で来ていたのに入って来ない？多分諦めてゴールしたんでしょうねぇ。藪を進みつつ、もう一度鳴いてくれたタイミングで方向修正し、正面にパンチ台を発見して無事ゲット。後は、ゴールへ向かうだけですが、地図をどうみても藪の中にしかゴールは設置されてないようで、そこまで道がある訳もなく、ビーコン頼りに最後の藪こぎ堪能を楽しみました。

走行ライン入り口のビーコンを発見し、愕然としました。練習会でありながら「よくこんな場所にゴール設営するなぁ」と。これじゃ、受信機がトラブルと絶対にゴールできないなぁ。

○高校生選手についての感想

今回の練習会、この設定で１時間半でゴールできる高校生の実力は素晴らしいと思います。９月のReg3大会では日の丸が表彰台に揚がるのも期待できます。

競技中の高校生を見ていて感じたのは、走力は素晴らしい力をもって藪も簡単に走っていきます。その素晴らしい力をもっている高校生が、「探索能力」をもっと身につけることで更に時間短縮と体力温存が出来ます。体力のない走れない私がTXの近くで走って駆け抜ける高校生に追いつくのは無駄なく進んでいるからなのでは？やはり、探索開始地点に拘らず、高台で電線や金属・岩の反射物のない所を選んで正確に全TXの方向を地図に求めて、数回繰り返すことで交点を求めます。その上で回るTXの順番を冷静に決めて丁寧に狙ったTXに向かって進む。この時に受信機だけで進むのではなく、コンパスを使って北に対してどの角度で進めば目標のTXに辿り着くのかを設定し、鳴いていない間はコンパスに従って突き進む。

TXが鳴いた瞬間に方向修正し、受信機の距離感で場所を特定してゲットする。その際に、次に進むTXの方向も求めておくとゲット後に次のTXに直ぐに進めます。

特に高校生に欠けていると感じるのは、「電波の反射特性を理解できていない」「受信機の感度調整が十分に使われていない」「ヌル点の活用」これらは何れも『アマチュア無線』の技術の基本ですが、残念ながら単に『競技』としてとらえてしまって、スポーツを本当に極める上で「必要な筋力」を「必要な場所」につける事と同じように、『アマチュア無線』の競技には「アマチュア無線の技術」が必須であることが二の次になってしまっているように感じます。

クロアチア世界大会参戦記(敗戦記？)

JR1CHU 金重好美

第15回IARU ARDF 世界選手権大会(2010年9月13日～18日、クロアチア(9A)で開催)にカテゴリーM60で参加しました。特に今回新設されたM70クラス、W60クラスのメダルや高校生の活躍がありました。

詳細はＪＡＲＬのサイト[*1]を参照頂くとして、ここではM60クラス個人の反省を書いて今後につなげたいと思います。

◇事前練習会

大会のオフィシャルトレーニングの前に個別にトレーニングをやってくれたようです。時差ぼけ対策、現地の地形、植生またTX(送信機)やアンテナに慣れておくのに絶好と思います。オリンピックなどでも必ず現地の近くで練習試合などをやりますね。

◇オフィシャルトレーニング

2mと80mが一緒に設置してありました。

2mで時間が掛かりすぎ(真面目に走らなかった)、80mは１箇所しか発見できませんでした。受信機の動作確認に終わりましたが、地図と現地の状況、距離感(TX,ANTとの関係)をしっかり見ておくべきでしょう。但し、試合とまったく同じ設定で無い場合もあるので要注意です！

◇第１試合(2m)

今回から？同じゲレンデで80mと2mが同時に開催され、各カテゴリー毎に参加バンドが指定されます。いわゆる「団子状態」を防止するのにＦＢと思います。

両試合を通して、違ったTXへ行くことはありませんでした。

M60はNo.3,4,5が指定されました。また集合場所(選手待機場所)に競技地図が張り出されました。(このエリアで事前練習をしたチームがあり公平を期すためとのことでした)

スタートからゴールに向って道路や送電線があり比較的解り易いゲレンデなはずでしたが、No2の必要なクラスは苦労された様です。

結果は個人２５位でした。他のお二方の頑張りで、団体では４位でした。

No3での周波数間違い、No4でのショートカットがいけません。敗因は「アガリ」「焦り」です。当たり前ですが平常心が大事ですね。

◇第２試合(80m)

第１試合とは打って変わって、土砂降りの雨でした。(私の場合スタートとゴールがひどかった)2mでは一時TXが水没？で停波したようです。

南側と中央に道路があり、中央部は牧草地でした。林の中は小さなくぼ地が点在していました。

設定は碁盤の目の設定でした。M60はNo.2,4,5が指定されました

残念ながら、GPSロガーのスイッチを入れるのを忘れ、何処を通ったか不明です!!

結果は個人７位でした。

No2で山に迷い込んでしまったのが敗因です。早く小路に入りすぎたと反省しています。

またゴールへの帰り道は、遠回りをしてでも道をつないだ方が早かったかな？

３回目の世界大会参加、ヨーロッパの雰囲気に飲み込まれました。

日の丸を目指し日々トレーニングに頑張ります！

小生のボログ(ブログのレベルに非ず)もご覧ください。

http://jr1chu.cocolog-nifty.com/blog/

---

*1: http://www.jarl.or.jp/Japanese/1_Tanoshimo/1-5_ardf/15th-world-championships/15th-croatia.htm

ＡＲＤＦだより　～１エリア(茨城)～

ひとこと

茨城ＦＯＸテーリング倶楽部です。
茨城県内を中心に構成員２０名余で楽しんでいます。

入会は随時お受けしています。

大会・活動情報

名　　称：茨城ＦＯＸテーリング倶楽部
　　ＪＡＲＬ登録クラブ(14-4-25)
会　　長：JH1OKJ 池田敏雄
事 務 局：JH1DLJ 田中康正
クラブ員数：約２０名
会　　費：入会金・会費なし　＜寄付のみで運営＞
呼出符号：JM1YHY
会　　報：年６回発行、2011年7月号で117号発行済
沿　　革：1988年3月に「水戸ＦＯＸギャング」を発足
　　1992年3月に「茨城ＦＯＸテーリング倶楽部」に拡大、現在に至る。
ホームページ：http://www.ardf-japan.net/

連絡先

担当：田中康正　jh1dlj@JARL.COM

この小さな山の上が一斉スタート(茨城方式!?)

3.5MHz帯部門参加者

ＡＲＤＦだより　～１エリア(栃木)～

ひとこと

ＡＲＤＦ栃木

アマチュア無線の遊び方には、いろいろとありますが、個々にＣＷ・ＤＸ・製作技術を楽しみながらも、ＡＲＤＦにウエイトを置き遊んでいる栃木県で唯一のグループです。

全国的にも珍しく、ＡＲＤＦ栃木には、サポーター軍団があり、練習会・大会開催及び競技参加等での遠征にと、選手のサポートを頂いています。

サポーター軍団は、宇都宮市の地域クラブとして創部４０年″ＪＨ１ＺＬＦ　宇都宮無線クラブ″総勢４５名です。

大会・活動情報

☆ＡＲＤＦ大会開催

1995年 第１回下野の国ＡＲＤＦ競技大会(南那須少年自然の家周辺) 参加者30名 から
2011年 第17回下野の国ＡＲＤＦ競技大会(宇都宮市森林公園周辺)10月 2日予定 と、毎年実施し、近年ではアマチュア無線家減少の中で、高校生・中学生の参加数が急増しています。

☆製作技術

・144MHz受信専用3エレメント八木の製作　・144MHz・3.5MHz専用受信機の製作・改造
・144MHz無指向性送信アンテナの製作　・3.5MHz送信アンテナの製作
・ＡＲＤＦ競技大会順位決定ソフト製作 TX-Hunter（ＳＩ対応）
・ＡＲＤＦ競技用地図作成 ＯＣＡＤ使用

☆全国大会実績

2010全国大会
　Ｗ５０クラス　２位
　Ｍ５０クラス　１位
　Ｍ６０クラス　優勝

2009全国大会
　Ｗ５０クラス　２位
　Ｍ５０クラス　１位
　Ｍ６０クラス　２位
　Ｍ６０クラス　３位

2008全国大会
　Ｍ５０クラス　１位

※Ｍ５０クラスで３年連続１位です

連絡先

JE1XXK 保　坂　　登　（下 野 市）　n-hosaka@coda.ocn.ne.jp
JR1EYZ 大　野　政　男（下 野 市）　eyz-ohno@amber.plala.or.jp
JE1XXO 谷田部　幸　行（宇都宮市）　je1xxo@nifty.com

ＡＲＤＦだより　～１エリア(群馬)～

ひとこと

群馬ＡＲＤＦクラブです。

ＡＲＤＦ発祥の地、群馬では3.5MHzを広めていき、144MHzだけではないのですよ、ＡＲＤＦには２部門あることをＰＲしています。

また、受信機、アンテナ、地図の作製まで手掛けております。
是非一度、ＡＲＤＦを体験してください。

大会・活動情報

ＡＲＤＦには144MHzと3.5MHzとがありますが、3.5MHzの大会は日本ではあまり開催されていません。3.5MHzを日本に広めるべく、群馬県では２部門3.5MHzと144MHzの大会を毎年５月に開催しています。

今年は渋川市赤城山にて２日間、群馬大会を開催いたしました。
見学だけでもＯＫです、群馬に来てください。

また、ＡＲＤＦ審判員講習会も開催しています。
ＡＲＤＦという競技の勉強にもなりますし、審判員の資格を取ってからＡＲＤＦに参加すると、また違った楽しみ方ができると思います。

連絡先

清水 茂
7m3rmd@JARL.COM

ＡＲＤＦだより　～２エリア(静岡)～

ひとこと

静岡県立御殿場高等学校　システム部です。
静岡県御殿場市、富士市、富士宮市等の富士山麓を中心にＡＲＤＦの活動(練習)を行っています。

現在は生徒以上にＡＲＤＦにドップリ浸かっている顧問が「ＡＲＤＦは人生そのものだ！」と言い始めてから、未だ７年目の"新参者"です。
ＡＲＤＦを通して、人の生き方、ものの考え方、進み方等が学べると思い頑張っています。
とにかく楽しいＡＲＤＦの人口が増えると良いと思っています。

ＡＲＤＦって何？から、よく分からないけれど体験してみたいとか、興味のある方は連絡下されば生徒が丁寧にお教えいたします。

土日の練習には参加自由ですので、練習参加希望のある方は併せて連絡ください。

大会・活動情報

静岡県高等学校文化連盟では、年３回(夏季：５月下旬、秋季：９月中旬、冬季：１月下旬)静岡県内の東部、中部、西部を基本に大会を開催しています。
県内高校生以外の方はオープン参加も可能でので、練習として参加していただいても構いません。

連絡先

練習参加希望者や興味のある方は、
toshichin80@hotmail.com　　御殿場高校　齊藤
まで連絡ください。

ＡＲＤＦだより　～４エリア(岡山)～

ひとこと

私たち西日本アマチュア無線ボランティアズ(WARV)では、毎年４月に公認ＡＲＤＦ競技大会を開催しています。

大会・活動情報

○平成23年 ＷＡＲＶ ＡＲＤＦ競技大会(ＪＡＲＬ公認)

実施日: 平成23年 4月17日(日)
開催地: 岡山県真庭市蒜山地区

本年は、東日本大震災で開催するかどうか悩みましたが、元気を出す意味でもと考え実施いたしました。
真庭市長をお招きしての開会式後、岡山県北端の蒜山高原にて、選手11名スタッフ22名の参加で開催いたしました。

今年の異常気象で数日前までは、雪が舞う冬の気象が続いており天候に不安をもっていましたが、当日は天候に恵まれましたが、所々に雪が残り少し肌寒い蒜山の少し長めのコース(残雪の大山や蒜山三座を眺めながら)を選手の皆さんは駆け抜けていました。

お昼は、疲れたからだを、名物のジンギスカンを食べて疲労回復しました。
最後に来年も選手スタッフとの再会を楽しみに閉会しました

連絡先

JF4OVU 宇根山
t-une@kcv.ne.jp

WARV West japan Amateur Radio Volunteers
西日本アマチュア無線ボランティアズ

Web site: http://www.kcv.ne.jp/~warv/、E-Mail: warv@kcv.ne.jp

ＡＲＤＦだより　～６エリア(宮崎)～

ひとこと

宮崎県の北部、高千穂に住んでいます、ＪＫ６ＸＥＹ甲斐和枝です。
熊本県境まで１５分、九州自動車道の熊本益城ＩＣから約１時間半のところです。

毎年４月に「ライオン丸練習会」を開催しています。

大会・活動情報

「ライオン丸」は、娘が私の髪型から名付けたものです。毎年、広島、山口、愛媛、そして九州各県から２０名前後の方に参加して頂いています。
九州では、鹿児島と長崎で公認大会が行われていますが、宮崎ではスタッフもおりません。１人で全ての準備を行っているため「練習会」としていますが、十分に楽しんで頂けるコース設定ですので、競技時間は２時間１０分～２０分としています。
九州の大会が少なく、四国や中国地方まで足を伸ばして参加していますので、少しでもお返しができればと思いながら続けています。

前夜祭は、高千穂牛のバーベキューです。そして宿泊は我が家。皆さん、寝袋と飲み物を持参して泊まり込みます。

充実した競技設定と前夜祭で、皆さんの参加をお待ちしています。

連絡先

ＪＫ６ＸＥＹ　甲斐 和枝　　kazu.jk6xey@violet.plala.or.jp

ＡＲＤＦだより　～９エリア(富山、石川、福井)～

ひとこと

北陸レディオスポーツクラブ(ＨＲＳＣ)です。

ＪＡ９ＹＤＸ、ＨＲＳＣはＡＲＤＦを中心に活動しているクラブです。
会員は北陸３県に限らず入会することが出来ます。
入会金や会費はありません。(寄付は歓迎)
メンバーに登録すると、メーリングリストを利用して練習会などの情報を得ることが出来ます。貸出用の受信機も準備しています。気軽に参加してみて下さい。

ＡＲＤＦは自分の体力に合わせて楽しめる「アマチュア無線のスポーツ」です。

大会・活動情報

○北陸地方大会
富山、石川、福井の３県持ち回りで開催しています。
今年は富山県で９月１１日(日)に開催します。

○富山県大会
今年はありませんが、来年は秋に開催を予定しています。

○練習会
年数回の練習会を実施しています。

○その他
審判講習会、忘年会または新年会、ＪＡＲＬ支部大会でのＡＲＤＦのＰＲ活動など

連絡先

ＨＲＳＣ事務局　jh9vsw@JARL.COM　岩坂まで
富山県の人は　　ja9miw@JARL.COM　平田まで

その他　連絡事項等

北陸レディオスポーツクラブ
http://www.jarl.com/hrsc/pixyy/htdocs/kaihou/
事務局多忙のためＨＰの更新が出来ていません。

ＡＲＤＦだより　～φエリア(新潟)～

ひとこと

ＪＡＲＬ新潟県支部ＡＲＤＦ委員会では、新潟県大会や信越地方大会を担当しているほか、全国高校大会の運営をサポートするなど、ＡＲＤＦを通じた青少年の育成に努めています。

大会・活動情報

○新潟県大会、信越地方大会

新潟県では、新潟県ＡＲＤＦ競技大会を毎年開催しているほか、信越地方大会を長野県と交代で２年に１度開催しています。信越地方のみならず、関東地区など幅広いエリアから、４０人近く参加されます。

新潟大会、信越地方大会とも、総務省の情報通信月間行事として登録され、関係の皆様から多くのご支援を頂いております。

○全国高等学校ＡＲＤＦ競技大会

阿賀野市では毎年、全国高等学校文化連盟アマチュア無線専門部設立準備会の主催する、全国高等学校ＡＲＤＦ競技大会が開催されています。高校生に限らず、一般の参加も可能で、参加者は総勢２００名を超え、さながら一大交流会の様相です。

内容は大変濃く、

１日目：公開練習・受信機調整、開会ミーティングなど
２日目：競技、高校交流会「沢登り」、懇親会など
３日目：後片付け、解散

のような日程で行っています。特に沢登りは一度は体験頂きたい行事で、みんな、ずぶ濡れになりながら川を上り、ゴールの滝壷を目指します。

また、設立準備会では、ＡＲＤＦ競技技術研修会を行い、探索方法や送信機の設置方法等の知識を深め、生徒・指導者ともに技術の向上に努めています。

連絡先

ＪＦφＦＤＴ　佐藤 久　　jf0fdt@JARL.COM

第７回 全国高等学校ＡＲＤＦ競技大会
H22/7/31～8/2 新潟県阿賀野市
五頭(ごず)連峰少年自然の家 周辺

ＡＲＤＦだより　～φエリア(長野)～

ひとこと

信越地方本部や長野県支部はＡＲＤＦに力をいれて、平成２年より支部ＡＲＤＦ競技大会を開催し、平成３年にはＡＲＤＦ担当幹事を設け、１４年からはＡＲＤＦ委員会が設置され、現在に至っています。平成４年から新潟・長野が交互に地方大会を開催しています。1992年には上伊那郡高遠町(当時)で「92全日本ＡＲＤＦ競技大会」、また昨年は「2010全日本ＡＲＤＦ競技大会」が諏訪郡富士見町で開催されました。

このように支部の協力のもとで選手も頑張り、全日本大会の支部対抗戦では96年より07年までの12年のうち２連覇２回を含み８回優勝(４回準優勝)していますが、クラス分けが増えたことと、最近は高校生を擁する支部が大変強くポイントを稼いでいるせいで、優勝から遠ざかっています。

大会・活動情報

○信越地方大会

新潟県・長野県で２年に１度開催しています。今年は６月１２日に長野県で開催されました。

○長野県支部大会

信越大会がある場合、その前日に3.5MHzの大会を行います。無い場合は土日２日間で開催し、144MHz部門と3.5MHz部門に分けて開催します。

支部大会で3.5MHzを初めて開催(1993年)したのが長野県で、その伝統が今も続いています。

今年は長野県諏訪郡富士見町で６月１１日(土) に3.5MHz部門を開催しました。

連絡先

ＪＥφＧＴＴ　折井　匡　　je0gtt@JARL.COM 090-1266-3545

その他　連絡事項等

当クラブは初の「ＡＲＤＦクラブ」として発足してから今年結成20周年を迎えました。主催する大会には多くのスポンサーが付いていただき、参加賞や賞品をいただき、「長野スタイル」として定着してきました。

また、「初めて」の事にチャレンジしています。3.5MHz大会の開催、ＳＩなどの電子パンチの導入、ヘイローアンテナでの大会、外国製送信機での大会開催等、良さそうな事は、何でも率先して行っています。

そのようなクラブですが、新しい会員が少ないのが悩みです。一緒に楽しみたい方がいましたら、ぜひ仲間になってください。お待ちしています。

長野ＡＲＤＦクラブでは貸出し用受信機(ミズホFRX-2001)が10台ほどあります。クラブ等主宰のＦＯＸなどに貸出しを希望される方はご連絡ください。送料や電池代はご負担ください。また、大会に参加したいけど受信機が無い、と困っている方も、ご連絡をお待ちしています。(送信機もご相談ください)

国内各地のＡＲＤＦ関連競技会
最近２年間の開催実績と予定

地方	開催日	大会名(一部省略しています)	開催地	波長(m)
北海道	H22. 6.13	No.16 渡島・檜山支部 Fox Hunt	函館市	2
	H22. 7.25	審判講習会併設ＡＲＤＦ体験会	河東郡音更町	2
	H22. 9.12	2010北海道地方大会	帯広市帯広の森	2
	H23. 9.11	2011(No.20)北海道地方大会	美唄市	2
東北	H22. 9.10	2010東北地方大会	秋田県大館市	2
	H22.10. 3	福島県支部大会	福島県中通り地方	2
関東	H21.11.21	No.18 茨城大会	茨城県水戸市	80
	H21.11.22	No.18 茨城大会	茨城県水戸市	2
	H22. 4.17	No.16 下野の国大会練習会	栃木県大田原市	80
	H22. 4.18	No.16 下野の国大会	栃木県大田原市	2
	H22. 5. 9	2010北関東3.5MHz大会	群馬県藤岡市	80
	H22. 7.25	埼玉県支部 Fox Hunt	埼玉県東松山市	0.7
	H22. 8.28	ARDF栃木世界大会強化練習会	栃木県塩谷郡塩谷町	80
	H22. 8.29	ARDF栃木世界大会強化練習会	栃木県矢板市	2
	H22.10. 9	さいたま練習会	埼玉県さいたま市	2
	H22.11.27	No.19 茨城大会	茨城県水戸市	80
	H22.11.28	No.19 茨城大会	茨城県水戸市	2
	H23. 5.14	高等学校北関東予選	群馬県渋川市	2
	H23. 5.15	No.1 群馬県支部大会	群馬県渋川市	80
	H23.10. 2	No.17 下野の国大会	栃木県宇都宮市	2
	H23.11.19	No.20 茨城大会	茨城県水戸市	80
	H23.11.20	No.20 茨城大会	茨城県水戸市	2
信越	H22. 5.23	2010信越地方大会	新潟県見附市	2
	H22. 6. 6	2010新潟県大会	新潟県阿賀野市	80
	H22. 6.12	2010ＡＲＤＦ長野大会	長野県諏訪郡原村	2
	H22. 6.13	2010ＡＲＤＦ長野大会	長野県諏訪郡原村	80
	H22. 8. 1	No.7 全国高等学校大会	新潟県阿賀野市	2
	H22.10.23	2010全日本大会エキシビション	長野県諏訪郡富士見町	80
	H22.10.24	2010全日本大会	長野県諏訪郡富士見町	2
	H23. 5.22	2011新潟県大会	新潟県見附市	80
	H23. 6.11	2011ＡＲＤＦ長野大会	長野県諏訪郡富士見町	80
	H23. 6.12	2011ＡＲＤＦ信越大会	長野県諏訪郡富士見町	2
	H23. 7.23	2011御殿場高校練習会	長野県諏訪郡富士見町	80
	H23. 7.24	2011御殿場高校練習会	長野県諏訪郡富士見町	2
	H23. 7.31	No.8 全国高等学校大会	新潟県阿賀野市	2
北陸	H22. 4.18	2010北陸地方大会	福井県あわら市	2
	H22. 8.28	黒部市練習会	富山県黒部市	2
	H22. 9.12	富山県大会	富山県黒部市	2
	H23. 9.11	2011北陸地方大会	富山県黒部市	2

地方	開催日	大会名(一部省略しています)	開催地	波長(m)
東海	H22. 1.24	No.21 静岡県高等学校冬季県大会	静岡県掛川市	2
	H22. 9.19	静岡県支部大会兼静岡県高校大会	静岡県富士市	2
	H22.10. 3	2010東海地方大会	静岡県富士市	2
	H22.11.28	岐阜県支部大会	岐阜県恵那市根の上高原	2
	H22.12. 5	モービルFox 2010	三重県津市	2, 0.7
	H23. 1.30	No.22 静岡県高等学校冬季県大会	静岡県立森林公園	2
	H23. 9.11	静岡県支部大会兼静岡県高校大会		2
関西	H22. 5. 5	Fox Hunt 練習会	奈良県奈良市奈良公園	80
	H22.10. 3	2010関西地方本部大会	兵庫県加東市	2
	H23. 5. 5	Fox Hunt 練習会	奈良県奈良市	80
	H23. 9.11	2011関西地方本部大会	滋賀県蒲生郡竜王町	2
中国	H21.11. 8	2009中国地方＋No.21 広島県大会	広島県廿日市市	2
	H22. 2.28	岡山県支部大会	岡山県井原市	80
	H22. 3.28	No.17 呉大会	広島県呉市	2
	H22.11. 7	No.22 広島県大会	広島県東広島市	2
	H22. 4.18	WARV 2010大会	岡山県真庭市	2
	H23. 3.27	No.18 呉大会	広島県呉市	2
	H23. 4.17	WARV 2011大会	岡山県真庭市	2
	H23.11.20	2011中国地方＋岡山県大会	岡山県井原市	2
四国	H21.11.15	No.17 北四国大会	愛媛県松山市	2
	H22. 3. 7	2010北宇和大会	愛媛県北宇和郡鬼北町	2
	H22. 6.20	2010四国地方大会	高知県安芸郡芸西村	2
	H22. 9.20	2010かがわ大会	香川県高松市	80
	H22.11.14	No.18 北四国大会	香川県東かがわ市	2
	H23. 3. 6	2011北宇和大会	愛媛県北宇和郡鬼北町	2
	H23. 5.22	2011四国地方大会	徳島県板野郡上板町	2
	H23.10. 2	全日本大会直前練習会	徳島県阿波市	2
	H23.10.29	2011全日本大会エキシビション	香川県さぬき市	80
	H23.10.30	2011全日本大会	香川県さぬき市	2
	H23.11.13	No.19 北四国大会	愛媛県松山市	2
九州	H22. 3.14	No.15 きやったもんせ かごっま大会	鹿児島市上谷口町	2
	H22. 5.23	No.11 西九州ARDF公認競技大会	佐賀県杵島郡白石町	2
	H22. 6.13	No.16 きやったもんせ かごっま大会	鹿児島市上谷口町	2
	H22.10. 3	No.12 西九州ARDF公認競技大会	佐賀県杵島郡白石町	2
	H22.10.17	No.7 長崎県支部 Fox Hunt	長崎市あぐりの丘	2
	H23. 3.13	No.17 きやったもんせ かごっま大会	鹿児島市上谷口町	2
	H23. 4.24	No.6 ライオン丸練習会	宮崎県西臼杵郡高千穂町	2
	H23. 5.15	No.13 西九州ARDF公認競技大会	佐賀県武雄市	2
	H23. 8.21	No.18 きやったもんせ かごっま大会	鹿児島市上谷口町	2

出典：JARL News、JARL web 地方便り-行事予定、ARDF日本 など

ＡＲＤＦ関係Ｗｅｂサイト

◇一般社団法人 日本アマチュア無線連盟（ＪＡＲＬ）
http://www.jarl.or.jp/

◇ＪＡＲＬ信越地方本部 ＡＲＤＦ委員会
http://www.jarl.com/sinnetu/ardf/ardf.htm

◇ＪＡＲＬ新潟県支部 ＡＲＤＦ委員会
http://www.jarl.com/n08ardf/

◇ＪＡＲＬ長野県支部 ＡＲＤＦ委員会
http://jarl-nn.asama.net/ardf/

◇ＪＮ2010年冬号の「ＡＲＤＦに挑戦しよう」特集
http://www.jarl.or.jp/Japanese/1_Tanoshimo/1-5_ardf/ardf.htm
http://www.jarl.or.jp/Japanese/1_Tanoshimo/1-5_ardf/2010winter-ardf.pdf

◇ＡＲＤＦ日本
http://www.ardf.jp/

◇全国高文連アマチュア無線専門部設立準備会
http://www.ishitani.com/zenkok-ama/

◇全国高文連アマチュア無線専門部設立準備会 ＡＲＤＦ委員会
http://zenkok-ama.08ardf.com/

◇新潟県 佐藤さん（JF0FDT）
http://fdt.08ardf.com/

ご寄付のお願い

本年は多くのＡＲＤＦｅｒの皆様から貴重な募金を頂き、無事出展することができました。
来年もまたハムフェアへ出展できるよう、皆様のお気持ちを宜しくお願い致します。

ゆうちょ銀行　記号：１０２５０　番号：４１９２６４５１
名義：無線方探展示委員会（むせんほうたんてんじいいんかい）
他金融機関からは　ゆうちょ銀行　０２８店　普通４１９２６４５

ARDF日本

We are ARDFer of NIPPON (JAPAN)

2011中国地方大会配布用 V1.0
編集：ＪＪ４ＫＭＥ 古城朋和